

# 葛飾区議会レポート



明けましておめでとうございます。

◆旧年中はかわごえ誠一の活動にご理解・ご声援をいただき深く感謝申し上げます。昨年は地震や水害など大規模な災害が相次ぎましたが、葛飾区でも安全安心のまちづくりのため、地域に即した災害対策が急務です。また、昨今、様々な社会的困難が表面化してきましたが、全ての方が心豊かに生きられる社会を目指すための取り組みも欠かせません。今年もより良い葛飾を目指すため、共に汗を流してまいりますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## かわごえ誠一 ミニタウンミーティング 学習会「発達障害の子育てを支える」報告

◆去る12月15日(土)にミニタウンミーティング「発達障害の子育てを支える～ペアレントメンターの取り組み」を開催しました。東京都のペアレントメンターの講習を受け、葛飾で活動をしている「未来えんじん」のお二人をお招きし、発達障害の基本や活動等を伺いました。◆ペアレントメンターは発達障害児の子育て経験者が、ピアサポートをするための研修を受けて活動する制度です。活動として講演会等の他ぴあカフェを開催し、当事者でしか共有できない思いに寄り添い、支え合う取り組みを進めています。その中で「発達障害者支援に親支援が欠かせない」との言葉には強く共感しました。◆後半の会場との意見交換では、葛飾区の発達障害支援の現状への意見が多く出されました。発達障害のワンストップ窓口の必要性、ペアレントメンターのような区民のピアサポート活動への支援など多くの課題が出されました。今後のより良い支援を目指す一歩といたします。



ミニタウンミーティングの光景

### 葛飾区議会議員

## かわごえ誠一

### かわごえ誠一 プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ●東海大学第二工学部建設工学科卒●立石在住31年●一男二女の父親●保育園/学童保育クラブ父母会、小・中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、三番瀬保全活動などに携わる●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師●本田消防団第四分団員●葛飾区ボッチャ協会会長●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選●所属委員会：議会運営委員会、総務委員会、地域活性化対策特別委員会

# タウンミーティング

主催：かつしか区民連合

## かわごえ誠一 第13回テーマ別学習会のお知らせ

と き：平成31年 1月31日(木) 19:00~21:00

開場~18:45 ◎19:00~区政報告 ◎19:20~学習会

会 場：かつしかシンフォニーヒルズ 別館5階 レインボー

葛飾区立石6-33-1 京成線青砥駅徒歩5分

参加費無料

※会場の都合上、事前にご連絡いただくと幸いです。

### テーマ：公文書“コウブンショ”って何？ ～国民の財産・公文書について知ろう～

講師：三木由希子さん 特定非営利活動法人 情報公開クリアリングハウス理事長



◆講師プロフィール◆ NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長。情報公開・個人情報保護制度などの調査研究、政策提案、意見表明、情報公開制度の活用を行うとともに、市民の制度利用のサポート、行政、議員に対して情報提供や政策立案の協力などを行う。自治体の第三者機関委員なども務め、制度を使う側、運用する側、政策立案をする側の立場で関わる。共著に『憲法と情報公開』（白潤社）、『社会の見える化をどう実現するか―福島原発事故を教訓に』（専修大学出版）など。

◆自衛隊日報問題、森友・加計問題は公文書問題？ 国会で公文書が議論になりしばらく経ちました。公文書とは、国や自治体など行政が政策を進める上で、何が起こったのか、意思決定などをどのように進めてきたのかを国民や将来の人が検証するために欠かせない物です。それが、恣意的に隠されたり、改ざんされることはあってはならないことです。今回、公文書について、情報公開クリアリングハウスの三木由希子さんをお招きし、葛飾区の状況も踏まえ、公文書管理のあり方についてともに考えたいと思います。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web → <https://www.kawagoeseiichi.com>

問合せ  
連絡先

かつしか区民連合

〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内

電話 03-3695-1111 (代)

FAX 03-3697-0137

かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail [info@kawagoeseiichi.com](mailto:info@kawagoeseiichi.com)

# 葛飾区議会レポート

## 平成30年葛飾区議会第四回定例会 一般質問報告

◆去る11月29日から第四回定例会が開催され、補正予算、歴史的公文書の管理、相撲部屋への公共用地の貸付(奥戸1丁目)、児童相談所建設候補地について(立石2丁目)等が審議されました。本会議において、かわごえ誠一が一般質問に立ちましたので、概要をご報告をします。



第四回定例会で一般質問に登壇するかわごえ誠一

### 1) 水害対策の強化について

■各地で大きな水害が頻発し、葛飾区でも大規模水害の危険性が高まってきています。今回は区の水害対策について質問をしました。

**かわごえ：**水害対策を進めるには、ハード面ソフト面ともに区民の理解・協力が不可欠である。区の水害対策の今後の方向性を伺う。



葛飾区まちづくりシンポジウム「浸水対応型まちづくりにむけて」にて

**区長：**江東5区大規模水害ハザードマップ等の水害対策に関する情報提供や水害に関するシンポジウム等を開催し、区民の意識啓発を進める。

また、新小岩公園の防災機能強化など具体的な事業の推進にあたっては、区民に水害対策の必要性や国、都、区の見直し等を周知し、今後も防災拠点の整備に向けて、丁寧な議論を進める。

### 2) 子ども・若者計画とヤングケアラーについて

■貧困やひきこもりなど困難を抱えた子どもや若者を支援するため「子ども・若者計画」が策定されています。その方向性と、昨今注目されてきた社会的な課題「ヤングケアラー」について質問をしました。

**かわごえ：**課題が広範囲にわたる子ども・若者支援地域協議会の実効性のある運営体制と、専門部会の方向性について伺う。

**区長：**様々な分野の代表者などで構成する「葛飾区子ども・若者支援地域協議会」において、各分野の代表者の情報交換を行うとともに、実務者レベルの専門部会を設け、様々な課題を整理しながら事業面で必要な連携を図る。

**かわごえ：**若者特有の課題についての相談窓口と個々のケースに合わせた対応が必要だと考えるがいかがか。

**子育て支援部長：**困難を抱える若者がアクセスしやすい相談窓口を設け自立を支援する。来所による面接相談を中心に、ひきこもり等状況に応じて訪問相談を行うなど、個々の状況に寄り添うとともに、関係機関と連携して支援を検討する。

**かわごえ：**家族の介護をしながら学業や仕事をしているヤングケアラー・若者ケアラーが社会的課題として表面化してきた。区としての認識を伺う。ヤングケアラーについて区民や支援者への理解啓発を進めるため、学習会などで周知すべきと考えるがいかがか。

**子育て支援部長：**子ども・若者計画においては「家族の障害や疾病のため、その家族の介護や看護をすることによって、若者の自立や社会参画が妨げられる」ことが、ヤングケアラー・若者ケアラーに該当すると考える。様々な課題がある中で、区民に向けて情報の発信に取り組んでいく。

### 3) 依存症対策について

■7月にIR法(カジノ法)とともに制定されたギャンブル等依存症対策基本法と、昨今、社会的課題になっているインターネットやオンラインゲームへの依存について質問をしました。

**かわごえ：**ギャンブル等依存症対策基本法の施行と、WHO国際疾病分類ICD-11へゲーム障害が記載されることについて区の見解を伺う。

**区長：**区として法律の制定を受けて、ギャンブル依存症について正しい知識の普及啓発や相談体制の充実を図る。ICD-11にゲーム障害が追加された場合、区民や関係機関に対してゲーム障害は

疾患であり治療が必要なことの啓発や、ゲーム障害を早期に見出し支援できる体制を整えていく必要がある。

**かわごえ：**ギャンブル依存症は既存支援団体との連携や周知を進めよ。

**健康部長：**家族や関係者が依存症に関する知識を持つことは大変重要だ。区として既存支援団体、当事者や家族・友人の自助グループとの連携を行う。また、社会的認知を広げるため、さまざまな機会をとらえて区民に周知する。

**かわごえ：**ゲーム障害・ネット依存は未然防止のため、子育て中の保護者をはじめ、区民への啓発に力を入れるべきだ。不登校やひきこもりの支援団体などと情報交換し、連携を進めるべきだ。

**健康部長：**インターネット依存症の実態とその予防や対応についての講演会の開催などゲーム障害・インターネット依存に関する普及啓発を強化する。また、相談体制の充実に努めるとともに支援団体との連携を深め、ゲーム障害の予防に努める。

### 4) 男女平等社会に向けての男性への支援について

■男女平等社会を実現するためには、女性の権利保障と社会参加への支援と同時に、男性の家庭や地域社会への参加支援なども欠かせません。多方面での男性支援について質問をしました。

**かわごえ：**女性の社会参画への支援と同時に男性が家庭や地域社会へ参画していくにはライフサイクルを見据え、部署を超えた継続的な支援が必要だ。

**区長：**仕事中心である男性が家庭生活や地域活動などの仕事以外の生活に参画するには、家事・育児・介護などのスキル習得、仲間づくり、男性特有の課題などへの支援が必要である。後期実施計画では、各課の情報共有や連携強化を図り男女平等社会の実現に向けた継続的な男性支援を充実する。

**かわごえ：**子育て支援拠点施設の整備などに向けてパパママ学級の拡大、イクメンブルーなど子育て中の男性保護者への子育て相談などの支援についての考えを伺う。

**健康部長：**今後開設される子育て支援拠点施設では、イクメンブルー対応などの課題も改善し、性別に関わりなく誰もが気軽に訪れ相談ができ、子育ての仲間作りができるよう各種事業の拡充を図る。

**かわごえ：**小・中学校などでの父親の会・おやじの会の活動に対して教育委員会として情報交換や講座などの支援をすべきだ。

**学校教育担当部長：**男性保護者の教育への積極的なかわりには、子どもの成長にとって好ましい影響をもたらす。各学校等における「父親の会」などの活動実態をPTAと連携して調査し検討する。

**かわごえ：**介護者孤立防止のためケアラズカフェへの支援をすべきだ。また男性高齢者の社会参加へ就業支援や区内のNPO団体との協働など多方面から取り組み。

**福祉部長：**ケアラズカフェは設置する意義やニーズの高まりを深く認識している。NPO法人等との協働等は、団体と意見交換を行いながら男性が参加しやすい事業のについて、様々な視点で検討する。



おやじの会によるそば打ち教室